



一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)

サロン・あべの7月の出会い

平成22年7月17日(土) (サロン・あべの) 7月の出会いは、育徳コミュニティセンター2階研修室において、「アクションプランだから出来た「トイレ貸します運動」く地域に広がるコミュニケーションの輪」と題して、住吉区推進委員会、高齢・障がい者部会の北野忠男さんに、活動内容についてプロジェクトリーダーやDVDを見せていただきました。から、お話を伺いました。

○アクションプランについて
アクションプランとは、誰もが「住んでいてよかった」「ずっと住んでいたいな」と思えるまちづくりをめざして、住民のみなさんや関係機関や行政などが一緒になって全体で考えてつくる行動計画のことです。

本活動は平成16、17年度に行

つた住民懇談会であがったたくさんの方の声をもち平成16年度に発足した、住吉区アクションプラン策定委員会を経て、平成18年7月に住吉区アクションプランが完成。それに基づいて7つの部会を中心に具体的な取り組みが始まった。高齢・障がい者

「トイレ貸します」

～地域に広がる
コミュニケーションの輪～

部会はその7部会の一つで、高齢者と障がい者がメンバーとなり当事者の意見を出し合っています。当時の住民懇談会では、身近な地域で出かけられる場所がほしい、地域で生活するための働く場所と地域の受け皿、基盤整備が必要などの意見がでてい

た。

はじめに、高齢・障がい者部会(17名/当初11名)は、取組む課題を模索するために「アクションプラン推進の8つポイント」に取組んだ。

- 1 すべての区民が参加―多世代間交流・各種イベントを開催、など
- 2 話し合いの場を作る―喫茶コーナー、など
- 3 公私協議で地域福祉を推進する―障害者施設と高齢者施設との交流(いきいき教室)
- 4 ネットワークを作る―連合町会の組織に協力依頼(盆踊りや夏祭りでの交流)
- 5 地域の情報を共有するしくみを作る―施設間・地域間交流
- 6 さまざまな活動に区民が参加できる―障がい者(当事者)参加・当事者間交流
- 7 各種サービスを利用しやす

くなるー(利用しやすくするためには、どのようにすれば良いとおみますか。)

8 地域の将来像を描くー(将来どんな地域にしたいですか?)人となりのつながり、思いやり/お出かけ支援

○部会のメンバーである岸田さんより提案、車いす「トイレ貸します運動」の推進

まずはアンケート調査に取組みました。「外出とトイレ」について、区内の身体障がい者100名を対象に施設・作業所等利用者を中心に27施設にアンケートを配布した。その結果は、125名から回答が得られた。アンケート結果の概要は、次のとおり。

①年齢層は30歳までが28名で一番多く、次に30代で15名となっている。

②外出したいときに困ることは

↓道のでこぼこや障害物が多い、自転車や車が怖いなど、

③外出で車いすトイレが見つからなかった経験があるが50名で車いす利用者の7割に及ぶ。

その他スペースが狭い、手すりなどの設備が不十分など。

④トイレで困った場所 ↓地下鉄の駅、公園、スーパー、商店街、喫茶店、レストランなど。

⑤トイレで困った経験↓和式しかない。便座の高さと手すりの高さが合っていない。不潔・不衛生。扉がすぐ閉まるなど。

⑥どのトイレが良かったか↓デパート、病院、障害者スポーツセンター、ホテル、高速道路のサービスエリアなどで、その理由は、スペースが広い、設備、きれいな清潔。

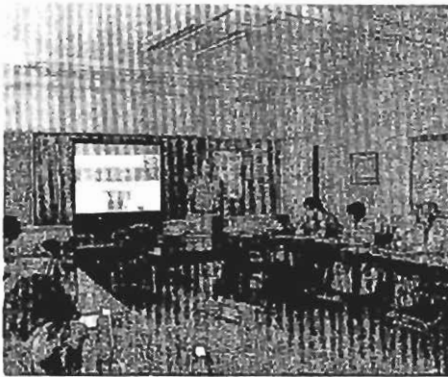
⑦公共交通機関で困ったこと↓最寄の駅にエレベーターがない。

い。エレベーターが少ない。電車とホームの隙間など。

⑧まちづくりについての意見↓駅前の自転車を減らしてほしい。各駅にエレベーターがほしい、など。アクションプラン交通部会でも駅前の不法駐輪について議論された。

○「トイレ貸します運動」に地域が協力

住吉区の各連合会長会議にて、お願いして「トイレ貸します」運動推進の地域アドバイザーを



各町会で1〜2名推薦して頂き、活動に参加いただいた。「トイレ貸します運動」に賛同していただく場所に、運動のマークのシールを張って利用者がわかるようにした。当事者が積極的に街に出て活動した結果、当初は福祉施設関係が中心であったが

部会メンバーによる新たなトイレを発掘して、学校、スーパー、ドラッグストア、コンビニ、医療施設などで、賛同施設は、2年間で97ヶ所(平成20年6月現在)に広がっている。アクションプランでここまで来れたのは、一つひとつのステップ・過程で健常者と当事者と地域が一緒になって自分たちの活動の土壌ができ、自分たちの活動を小中学生にしめすことができ、社会の変化の中で、生きがいを感じている。

お話のあと、アクションプランのDVDを見て、参加者から感想や意見を聞きました。

「身近なでることあると感じた。」

「DVDに知り合いが出ていて親しみを感じた。」

「地域の人にシールを貼つてもらう協力関係が大切だと感じた。」

役所や地域が協働で自分の出来る範囲でそれぞれ出来ることを活動することすばらしく、大きな情熱を感じたサロン・あべの7月の会でした。

(参加者18名 山村貴司)



岸田美智子

7月のアクションプラン報告
大阪教育大に行ってきました

以前このコーナーで地域福祉学習DVDを制作中だとお伝えしましたが、6月22日に、高齢・障害者部会で出来上がったばかりの地域福祉教育学習DVDを持って、とりあえず、教育関係者の意見を聞こうというこで、大阪教育大学の介護概論の授業に参加させていただきました。

当日の授業の流れは、まずDVDを観てもらいその後、このDVDに出演している3人の車椅子の障害者当事者からの、

このDVDに出演した思いや伝えたい事などを3人から発言していききました。その後質疑応答を少し行い、1時限目の授業は終わり、2時限目では100人ぐらゐのグループに分かれて、各グループに当事者が一人ずつと、高齢・障害者部会の関係者が入ってグループディスカッションを行いました。学生の皆さんからのDVDの感想としては、重度障害者がヘルパー派遣事業所を立ち上げ運営し社会貢献まで考えている事に対して感動したという感想や、このDVDで子供達に何を伝えたいのか分りにくいという意見もありました。グループディスカッションでは学生とゆつくり意見交換が出来たので私たちも勉強になりました。

まいどからは私も含めて4人で参加しましたが、もちろん当日は、リフト車で送迎していた

だきました。それなのに教育大が、こんなに地理的に不便な所にあるとはと驚いてしまいました。山を削った様な位置に建っているため坂が多く、最寄り駅がとても遠い上にバス停しかありませんでした。これでは車椅子の学生が、もしいたとしても通学が車以外は無理だと思いましたが、私はこの地理的な状況だけを見ても障害者の事を考えていないと腹立たしく感じました。そんな事を証明するかの様にこの日にDVDを観たほとんど学生は、障害者と出会った事がないという発言が多かったです。このDVDや私たちが授業に参加させてもらったのでやっとなんとか日本の教育がまだまだ障害者差別を生み出しているのではないかと改めて疑問に思った1日でした。

このDVDはこの日出会った

学生たちからの意見や、これから実際に観てもらおう子供達からの反応も参考にしながら作り変えていく予定です。そして、この

虐待の 世代間連鎖

「児童虐待は世代間連鎖するものですから・・・」と、私の目の前で「水は冷やすと氷になりますから・・・」というような調子でいう学生さんがいたので、「ねえ、ちよつと待つてください」と私は言ったのです。

「児童虐待の世代間連鎖」と言われても知らない人には何のことか、ピンとこないでしょうから少し説明しますと、「親から虐待された子どもは、自分が親になったときには自分の子どもを虐待する、あるいは虐待しやすい。つまり虐待は世代を超えて

DVDと一緒に使ってもらおう為のイラストや写真入りのリーフレットを制作中です。私たちが作ったDVDやリーフレットで一人鎖(くさり)のようにつながっている」ということです。

この話は学生たちをとて強く引きつけるようで、「ああ、そうだったのか」という知的な感動すらあるようです。そして新聞の報道などを見て、自分の子どもに対してなぜあんなにまで残酷なことができるのか、それが理解できなかった学生たちを、次のような説明が満足させてしまいます。

つまり「子どもをどうやって愛するか、それは人間が本能的に知っていることではなく、自分が親から受けた愛情をもって体験的に知るのである。だから子どもは虐待を受けて親から愛された経験のない人は、自分も親になったときにどうやって子どもを愛したらいいのかわからない。だから自分も虐待する親になる。」

こんな一見、明快な説明のもとに「児童虐待の世代間連鎖」を(私から見ると、嬉々として)語る学生たちに、私が「ちよつと待つてください」と言ったのは、「あなたの目の前に、その虐待を受けてきた人がいるかもしれないということを考えています

も多くの子供達が障害者たちと出会っていき、その出会いから今後色々な形で広がって行ってほしいものです。

か」と問いたかったからです。もちろん、目の前にいなくても、虐待を受けてきた人は世の中にたくさんいます。そういう人たちにとって「虐待の世代間連鎖」という話はどんな意味があるのか考えて欲しいのです。

「あなたも親になったら、きっと虐待するようになるよ」という意味なのですか。しかし、それでは、まるで「呪(のろ)い」の言葉ではありませんか。

「そういう『事実』をわかっていたら、自分もそうならないように気をつけることができるはず」という反論もありました。でも、どうでしょう。「虐待を受けたこと」によって『悪魔の血』があなたの体内に入った。その『悪魔の血』に気をつけなさい」と言うようなものではないですか。やつぱり私には悪質な「呪い」のようです。

「心理学の理論」としては興味深い話かもしれませんが。でも学問の理論は、たいていは仮説です。仮説なら仮説らしく、もっと条件をつけて控えめに語られるべきでしょう。

意地悪くいえば、「世代間連鎖」という「鎖」を考えれば、自分が子どものころに虐待を受けてこなかった人は、その「鎖」につながれていないことが確認できるわけです。「ああ、私は大丈夫だ」という安心感が出てくるのでしょね。虐待は「鎖」に縛られた閉じた輪のなかだけで、永遠に繰り返されるだけの出来事になる。自分とは無関係になるのです。

そういった「鎖」を考えることは、かえって一部の親たちを孤立させ、辛い思いをさせてしまうことにならないでしょうか。仮説にすぎない「理論」が「呪い」になりうるのは、この「鎖」が人々を分断するところのかもしれない。(知)



晴れのち晴れ

稲垣恵雄

■ショートステイ

梅雨入りを間近に控えた6月7日から一泊で、白山医院に併設されている施設のセンターでお世話になった。

昼間はサービスの利用者と同じように入浴やりハビリ、ゲームなどをして過した。そして夕方4時半になると、その日のショートステイ担当のYさんとエレベーターでセンター3階まで行った。そこには談話室と5つのベッドルームがあり、それぞれに花の名前がついてあった。私は「さくら」の間でベッドの他に洗面台、トイレ、物入れなどが取り付けられてあった。各部屋に花名がついているのには何と粋なはからいかと、私は感心した。談話室でしばらくテレビを見ていると、Y

さんが夕食を持ってきて下さった。食事をしながらYさんといろいろお話をしたが、彼女は家庭でも職場でもいっしょうけんめい頑張っている様子がよく分かった。夕食後、寛いでいると、院長先生や看護師長さん、管理者のAさんなどが来られ、



「お変わりありませんか」ときいて下さるのである。冒頭にも書いたように病院が横にあるので急病になってもすぐにドクターやナースが来てくださるのが何よりありがた

い。
午後9時前に私は歯みがきと洗顔をすると、Yさんにベッドに寝かせてもらった。朝までぐっすり眠ることが出来たので、快い気分ですることができた。それにYさんが親身になってお世話をして下さったので2日間とも安心して過ごすことができた。

中村かずみ

家族でアメリカ!

ケンタッキー州滞在記

10

ケンタッキー1号店に行きました!!

ケンタッキー州東部のCorydonは、私たちが住んでいた

Lexingtonからはハイウェイをとばして2時間ほど離れた街です。

そこでカーネル・サンダースおじさんはレストランSANDERS CAFEを始めました。

今もその場所で営業されるケンタッキー・

フライドチキン (KFC) 1号店は、他の店舗とちよつと違います。当時の衣装や道具

が飾られ、木のテーブルで食事しながら再

現された厨房や寝室も覗けます。古いキャッシャーがおかれた事務室には日本でお馴染みサンダース像(他の店舗では、店頭でも店内でも見かけませんでした)。併設の小さな記念館ではサンダース氏の生い立ちなどを知ることが出来ます。

店の前には、州が銘文を建てています。曰く、"伝説発祥の地"。

その銘文のデザインは、各地で"最初の入植地"や"最古の教会建築"を紹介するのと同じもの。サンダース氏は、まるで文化財の様に"ケンタッキーでもっとも有名な市民"として紹介されているのです!!

でも周囲は田舎も田舎、他には何も寄るところのないへんびな場所です……日本人が良く来るそうです(笑)

そもそも、日本でケンタッキーといえばケンタッキー州よりも、フライドチキンのお店でしょう。主人の留学が決まって実家に電話をしたときにも「ケンタッキーに行く」||夕飯は外食?と勘違いされた程です。

ところが現地に行くと、州代表の食べ物チキンよりもステーキ、どうして日本人はそんなにコレが好きなのかと逆に訪ねられ



パンチのサンダースおじさんと



店内でお食事中です

たりする始末です。(もつとも、日本人だ
って外国の人が思うほど毎日スシは食べて
いませんから、お互い様かも)

そして本店の味はというと、……日本と
同じでしたー!

Lexington市内にもケンタッキー・フラ
イドチキンはあつて、一度行きましたが正
直そちらは油が悪かった様な。メニューも
レバーの唐揚げやマツシユポテトなど見慣
れない献立があつて、まあこれがアメリカ
風なのねーと思つていたので、Cold
の1号店では不思議なくらい馴染んだ味が
しました。日本人に慣れたフレンドリーな
店員さんのおかげのマジックだったのか、
それとも日本店が本家の味を守り続けてい
るせいでしょうか?

もちろん、街中店舗と同メニューです
からあれこれ日本と違いはあつて、1人分が
多いのは当たり前。そしてトウモロコシが!
パックのコーンサラダではなくて、丸ごと
一本のホイル包みをくれるんです。ワイ
ルドですよね。胸肉を何個、もも肉を何個
と部位を特定したセットがあるのも面白
かったです。

それからビスケット。これだけは本場の
方が格段に美味です。大きくて中はふわつ
と外がカリカリ……そう実は、ケンタッキ
ー州周辺でビスケットといえば円筒形にふ
くらんだ塩味のパン(？スコーンの様な)
を指し、肉料理に添えられるものらしいの
です。日本ではビスケット⇨薄くて堅い焼
き菓子ですから、SCQで蜂蜜を添えて出さ
れる小さなパンが「ビスケット」と呼ばれ
ているのは謎だったので、本場ではあ
ればデザートでなく主食だったのでした。
皆さんも、今度SCQにおいての際はあの

ビスケットはフライドチキンと一緒に食べ
てみて下さい。本場の気分が味わえる……
かもしれない?

(映画紹介)

「シービスケット」(2004年、141分)

大恐慌時代。競走馬シービスケットの活躍
が、失意の男たちの心を熱くした! 実話に
基づいています。

ビスケット繋がりで(笑) この名馬シービ
スケットの生まれはケンタッキーの牧場。
ロケもレキシントン周辺で行われたそうです!

お知らせ

<サロン・あべの>9月の出会い

○内 容: ワークショップを楽しもう!!
~自己理解と他者理解について~

○お客さま: ワークショップデザイナー・
宮脇淳氏

○日 時: 9月18日(土) 午後1時~
4時、

○場 所: 育徳コミュニティーセンター、
2階・研修室
[大阪市阿倍野区阪南町5-15
-28、
06-6621-1901]

○会 費: なし

○問合せ先…TEL 06-6691-1028
(富田慶子)



9月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

■「サロン淀川」9月の出会い

日時：9月4日(土)午後12時～5時
内容：「お祭りは地域の大切なコミュニケーション」
～今年もボランティアコーナーにて、
手作りおもちゃでこどもと大人の交流を楽しんでください～
場所：淀川区民センターグランド、淀川区社協「ふれ愛コーナー」
会費：なし
問合せ先：淀川区社会福祉協議会(ボランティア・ビューロー)
☎06-6394-2900

■「サロンにしよど」9月の出会い

日時：9月18日(土)13時～15時
内容：未定

場所：未定
問合せ先：中本☎090-9864-9678

■「サロンにし」9月の出会い

日時：9月11日(土)午後2時～4時
内容：「野口体操」
～力を抜いて、からだところの開放感の魅力を
感じましょう!!～
講師：増淵由紀江(ますぶちゆきえ)さん、野口体操
からだの教室・関西支部
場所：西区在宅サービスセンター(西区役所6階)第
1会議室
大阪市西区新町4-5-14、06-6539-8075
会費：なし
問合せ先：宮脇淳☎090-3949-6973

■「ウイズ東淀川」9月の出会い

日時：9月12日(日)午後1時30分～4時
内容：盲聾ご夫妻の生活あれこれと、得意のマジック
ゲスト：山口ご夫妻(盲聾夫婦)
場所：NPO法人自由空間クラブ
大阪市東淀川区淡路2丁目
会費：なし
連絡先：鈴木昭二☎06-6340-3082

■「サロンいたみ」9月の出会いはお休みです。

サロン・あべの毎月の感謝

カンパ、切手、はがき、飲み物、お菓子等
と、バザー用品のご寄贈ありがとうございます。
ました。

カスタネット、ヘヤーマイク、トランプ、
石田美穂子、伊勢村和子、伊東裕子、
井上礼子、奥田久子、奥田真祐美、加賀谷正、
風智恵子、神谷君江、北野忠男、蔵田均、
桑田加代子、神城昭子、小西京子、目和子、
大丸美智子、高橋幸子、竹下洋子、竹村定子、
辻本輝子、手島八重子、寺澤奈津、土井一典、
富田慶子、中村宣子、難波りんご、久木浩、
平岡太、町野旬子、松村美鈴、松本克代、
松本聡美、松本洋子、丸山寿美子、
道川内博子、宮本志津代、宮脇信子、
村田能子、山田洋子、山根匡子、山村貴司、
山本鈴子、山本敏子、吉原和郎、芳村和子、
芳村かほる、松森美智子、
その他の方、(敬称略)

<サロン・あべの>Vol.290 発行：平成22年(2010年)8月17日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆
事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941
印刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F06-6719-8212
ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/「サロン・あべの」でも検索できます